

令和7年度 第1回ふるさと館運営協議会顛末

日 時：令和7年（2025年）5月27日（火）14:00～15:00

場 所：飯山市ふるさと館 学習室

出席者：青木 修、大月よし子、小出清美、梨子田昌央、柴田さほり各委員
山田教育長、島崎文化振興部長、事務局4名

進 行：島崎部長

1 開 会

（部 長）令和7年度、第1回運営協議会を開会します。

2 辞令交付 山田教育長より梨子田委員へ

3 あいさつ

（委員長）インターネットでふるさと館のロコミを見てみた。「昔の道具に触れることができたのが良かった」「同行者と道具にまつわる思い出話に発展した」「昔と今がうまく繋がる場所」というコメントが見られた。例えば、昔行われていた蚕の育て方や、糸の取り方、まつわる昔話など、たくさんの人々に飯山の暮らしや文化を発信してゆけたら良いと思う。今日は昨年度の報告や、今年度の方針なども伺いながら進めてまいりましょう。

（教育長）今週末は市内3校の運動会が予定されている。今年20年目を迎えるふるさと館。さまざまな発信のなかに、小菅地区が国重要文化的景観選定10周年ということで行われるシンポジウムやコンサートの企画もあると聞いている。また、美術館とタイアップで秋に「想い出の学校展」も準備中とのこと。また、先週末に行われた「史跡等協議会」に参加された方がふるさと館を訪れた際の感想として、「展示に日本語と英語が併記されていて良い」「駅に近く、日本文化発信の拠点としてもちょうど良い」等、ありがたい声が届けられた。皆さま、今日は忌憚のないご意見を。

4 自己紹介

5 協議事項（進行：青木会長）

① 令和6年度事業報告

（事務局）資料に基づき説明

（進 行）質問等ありますか。

（柴田委員）ふるさと館単独の入館者数が、ここ数年で一番多かったということだが、
どういう人が増えたからなのか？団体も多かったか？

（事務局）団体としては小中学生の団体来館もあるが、それよりも個人の来館が増えた
のを実感している。

(部 長) インバウンド来館者はどう？

(事務局) 駅に比べれば少ないが、冬季の来館はあった。日によっては数組入館があった。

(柴田委員) ということは、個人客の増加分 300 人のうちの 100 人ほどはインバウンド来館者ともいえますね。

(事務局) 個人等の来館の増加は、企画展の内容にもよる。6 年度秋の飯山城の企画展は人気があった。城関係は人気があるし、現在開催中の土偶も好評だ。人気の企画展の場合は滞在時間も長い。

(柴田委員) 観光局発行の雑誌「飯山旅々」も城特集のときは人気で増刷をかけた。

(部 長) 冒頭ご挨拶の中に「ふるさと館の昔の道具類に触れられてよかった」という感想や口コミがあるとお聞きしたが、実は 1 階の考古展示コーナーにも触れる土器が引き出しに入っていたりしている。もう少し PR しても良いかと思っている。内内の話で恐縮だが。

(館 長) 土器のかけらなどはイベントや出張講座等でも触ってもらう取り組みがされている。脱穀などの道具類も使ってみないとわからないと思うので、「体験」で活用してもらいたい。民俗資料については、ぜひ触って体験して欲しいのですが、子ども達が触って遊びだすようでは学びに繋がらないと思う。その辺を館としても留意してゆきたい。

(会 長) 東小でそばを栽培した時、脱穀から石臼まで体験していた。いろんな体験ができるのは強みですね。

(館 長) 昔の人の苦労や工夫を体感して欲しい。

(会 長) 前回の協議会で、飯山駅へふるさと館 PR 宣伝材料を置きたいという話が出ていたが、その後どうですか？駅とのタイアップは順調ですか？

(柴田委員) 今年は、やや控えめな案内に終わってしまったので、次の冬にはもう少しふるさと館に来館してもらえるように早めに相談しながらすすめていきたい。体験内容なども相談しつめていきたい。

(会 長) 小学校統合後の出張講座関係はいかがですか？

(事務局) 今のところオファーはない。

(会 長) 計画中かもしれませんね。

(3) ふるさと館入館料変更案について

(事務局) 資料に基づき説明

(会 長) ここで決めるということではないので、忌憚のないご意見やご感想を。

(柴田委員) いろいろ値上がりするなか 200 円を 300 円にするのは妥当。ふるさと館の年間収支を考慮し上げざるをえないならば、なんら問題ないのでは。存続することが大事なので。ただ、決算的にそこまでではないよ、というのであれば、小中学校団体さんなどは据え置きも念頭に入れても良いかと。施設そのものの目的にもよる。ただ観光局でご案内するにあたっては、端数が出ない方が案内しやすい。数の多い市外小中学生の団体さんは、50 円から 100 円の値上げの影

響がどのようなものなのか、観光局としてもリサーチやヒアリングしていきたい。

(館 長) 開館の頃の様子をお伝えすると年間にかかる電気料金くらいは入館料と雑入でとんとんで賄うことができていた。図書館もそうだが、こういう施設は基本的には無料サービスの施設であると認識している。ただ特別な理由のあるときだけ徴収している。そんなスタンスを続けられればいいと思っていたが、最近では電気代も高騰しているのでやむをえないかと。

運営費からすれば、多少入館料を値上げしたところで支出をカバーするには程遠いようだが、現行の入館料 200 円を 300 円に値上げするととなると、それなりの中身を充実させないと。ふるさと館常設展示場は 50 平方メートルしかない。小規模な資料館ですら 200 平方メートルある。「博物館」と名の付くところは 800 平方メートル。となると、このふるさと館では「企画展」を充実させることに注力していきたい。入館料を上げざるを得ないとしたら、その分、中身を充実させていかねばと思う。

(会 長) インターネット情報の「声」にも、「安い」とあった。大人料金は 200 円から 300 円でよいとして、小中学生料金については、また事務局で考えていただければと思う。

城北中教頭の梨子田先生はいかがですか？

(梨子田委員) 200 円でも 300 円でも大変安いな、という印象。先日 1 学年が斑尾宿泊学習に行った際にスタッフの方々と話す機会があった。地元の子どもたち以外に府中市や武蔵野市の団体も来ていると聞いた。泊りは戸狩の民宿を利用するとのことで、その体験プログラムの一環でふるさと館へも見えていたと聞いた。入口にある唐箕に触れたり、また体験出来たりというのは本当に良いことだと思う。

(会 長) ご意見ありがとうございました。

(4) ふるさと講座体験料変更案について

(事務局) 資料に基づき説明

(進 行) 皆さんご意見を。

(柴田委員) 体験者はほとんどが小中学生ですか？

(事務局) そうです。大人はこれまでほぼなかった。

(柴田委員) 観光局のインバウンド担当者の意見とすると、海外のお客様は安いと逆に体験をやりたいがらない。安いのは良くないという認識を持っている。高ければ高いほど申し込みが増える傾向にある。3000 円の体験を 10000 円にした方がお客さんが増えたと聞く。観光局の意見とすると、少なくとも 1000 円からではないか、と思う。出来上がったものを持って帰れるし。金額をあげる分、英語の説明を付けるとか、キットにしておいてお客さんにそのストーリーが伝え

られるように、そこにかかる労力も費用に反映させるなど提案したい。

(会 長) 今、原価どれくらいで仕入れている？まが玉の場合？

(事務局) 300 円弱です。参考に他の博物館の金額を調べたところ 100 円から 500 円くらいまで、さまざま。

(会 長) 石臼体験のきなこは持ち帰るの？

(事務局) 学校側からご要望がある場合は対応している。

(会 長) 体験値上げについて今後も検討しながら進めていってください。

(5) 飯山市学びのエリア再整備ビジョン策定について

(事務局) 資料に基づき説明

(事務局) 本日頂いた意見を参考にすすめていきたい。

6 次回開催日

1 1 月中旬を予定

7 その他

8 閉 会

(部 長) それでは、これで第 1 回運営協議会を閉会します。本日はお忙しい中ありがとうございました。